

上関、推進町長が3選果たす

原子力 立地地域振興への期待大 予定地

三月の福島県選挙以来、原子力発電所の建設予定地の首長選挙として初めて、山口県上関町長選挙が二十五日行われ、投票の結果、現職で建設推進派の柏原重海氏(62)が、建設反対の市民団体代表の山戸貞夫氏(61)を大差で破り、三選を果した。投票率は八七・五%で過去最低だった。上関町には、中国電力が、推進の立場の柏原氏を推す中で、地元では原子力発電所の安全性を前提にしながらも、立地交付金や雇用への期待など、依然高いことが示されたといえる。

開票結果は以下の通り。柏原重海氏・千八百六十八票、山戸貞夫氏・九百五十八票。

上関町には、中国電力が、それぞれ一八年三月、二二年度中の運転開始で上関原子力1、2号機各ABWR、百三十七・三万kWを計画している。

再稼働に関し「最大限努力」

原子力安全・保安院長 地元説明を重視

原子力安全・保安院長の深野弘行院長は二十二日、停止中の原子力発電所の再稼働について、地元説明を重視し、最大限努力を要する旨を述べた。

深野院長は、福島県知事訪問、県議会で、説明他、八月に就任後の福島原子力災害に関する対応などを述べたに続き、IAEA総会(十九日、二十三日、ウィーン)の概要を報告した。

天野IAEA事務局長との会談でも取り扱った原子力発電所の安全評価「ストレステスト」については、「事業者から上がってきたものを保安院が評価し、続いて原子力安全委員会も評価」と、今後のプロセスを述べた。IAEAの国際的知見の活用にも言及した上で、「われわれとしては、最大限努力をしていくことを前提

原子力安全規則 改革で提言

エネ戦略研 金子熊夫・エネルギー戦略研究会会長、宅間正夫・日本原子力学会SNW会長、林勉・エネルギー

原子力安全規則の改革を提言する「エネ戦略研」の金子熊夫会長、宅間正夫会長、林勉会長は、原子力安全規則の改革を提言する旨を述べた。

金子熊夫会長は、原子力安全規則の改革を提言する旨を述べた。宅間正夫会長は、原子力安全規則の改革を提言する旨を述べた。林勉会長は、原子力安全規則の改革を提言する旨を述べた。

「地震列島に原発?」課題提起

村上東海村長

村上東海村長は、十八日に開催された同村主催「東海村と原子力の未来を考えるフォーラム2011」での挨拶の中で、今回の福島第一原子力発電所事故の発生を受けて、「事故の原因は天災であって不可抗力であった」という総括は断じてあってはならない」とした上で、「日本は原発を保有する資格があるか?」の類な地震列島に原発は思えない。気の沙汰とは思えない。

新型遠心機運開、12月に

日本原燃 東日本大震災で延期

日本原燃は、東日本大震災で延期された新型遠心機運開の運びについて、同社では一〇年三月より、ウラン濃縮工場の新型遠心機への更新工事を実施しており、初期導入の半分(三十七・五ト)の約八割程度(WU/年)の約八割程度の新機製造が完了し、順次、据付作業が行われるなど、ほぼ工程通り進捗しているが、三月の震災影響により、五月まですべての作業を見合わせるという。

原燃廃棄物の中間貯蔵施設

細野豪志・原燃担当相は、二十七日の衆院予算委員会、福島原子力事故に伴う放射性物質で汚染した瓦礫や土壌を一時集中的に保管する「中間貯蔵施設」について、「十月中には中間貯蔵施設も含め政府の考えを提示したい」と述べ、県内のいくつかの自治体と設置場所について話し合っていることを明らかにした。

また、同相は「仮置き場の期限をいつまでとするか、それをどこ(最終処分場)に移すのが問題」と述べ、集中的に保管・管理する中間貯蔵施設を造らなければ「大規模な除染を行うことができない」との認識を示した。

日本の放射線・放射能基準

1-福島第一原発事故(番外編⑫)

暫定規制値(五百Bq/kg)を超える放射性セシウムが出たよ。牛肉を食って食べた場合は、約1μSvの線量を受けるが、普段の食べ物から受ける線量に比べてはるかに小さい。

暫定規制値(五百Bq/kg)を超える放射性セシウムが出たよ。牛肉を食って食べた場合は、約1μSvの線量を受けるが、普段の食べ物から受ける線量に比べてはるかに小さい。

自然放射線(世界の平均)	単位(μSv)
内部線量	290
外部線量	480
年間線量(合計)	2,420

暫定規制値(五百Bq/kg)を超える放射性セシウムが出たよ。牛肉を食って食べた場合は、約1μSvの線量を受けるが、普段の食べ物から受ける線量に比べてはるかに小さい。

暫定規制値(五百Bq/kg)を超える放射性セシウムが出たよ。牛肉を食って食べた場合は、約1μSvの線量を受けるが、普段の食べ物から受ける線量に比べてはるかに小さい。

暫定規制値は危険値ではない

暫定規制値(五百Bq/kg)を超える放射性セシウムが出たよ。牛肉を食って食べた場合は、約1μSvの線量を受けるが、普段の食べ物から受ける線量に比べてはるかに小さい。

暫定規制値(五百Bq/kg)を超える放射性セシウムが出たよ。牛肉を食って食べた場合は、約1μSvの線量を受けるが、普段の食べ物から受ける線量に比べてはるかに小さい。

復興に向けて 福島住民の声

福島県田村市は、避難区域に指定された復旧計画をとりまとめた。住民帰還にめぐって市の関係者に聞いた。

田村市の緊急時避難準備区域に指定された復旧計画をとりまとめた。住民帰還にめぐって市の関係者に聞いた。

田村市の緊急時避難準備区域に指定された復旧計画をとりまとめた。住民帰還にめぐって市の関係者に聞いた。

田村市の緊急時避難準備区域に指定された復旧計画をとりまとめた。住民帰還にめぐって市の関係者に聞いた。

田村市の緊急時避難準備区域に指定された復旧計画をとりまとめた。住民帰還にめぐって市の関係者に聞いた。

田村市の緊急時避難準備区域に指定された復旧計画をとりまとめた。住民帰還にめぐって市の関係者に聞いた。

田村市の緊急時避難準備区域に指定された復旧計画をとりまとめた。住民帰還にめぐって市の関係者に聞いた。

田村市の緊急時避難準備区域に指定された復旧計画をとりまとめた。住民帰還にめぐって市の関係者に聞いた。